【自主シンポジウム6】

障がい者就労支援における 「働く態度」の獲得に向けた支援

-施設体系の機能分化の視点から-

2018年8月12日(日)10:00~12:00

〇企画者・話題提供者・指定討論者の紹介

企画者 小笠原 拓(株式会社ドコモ・プラスハーティ)

司会者 小笠原 拓(株式会社ドコモ・プラスハーティ)

話題提供者 小笠原 拓(株式会社ドコモ・プラスハーティ)

池田 浩之(兵庫教育大学/NPO法人 JSN)

佐藤 資子(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)

松本 咲子(社会福祉法人幸会)

指定討論者 菅野 敦(東京学芸大学教育実践研究支援センター)

就労移行支援

就労を希望する障害者につき、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を供与する

就労継続支援A型

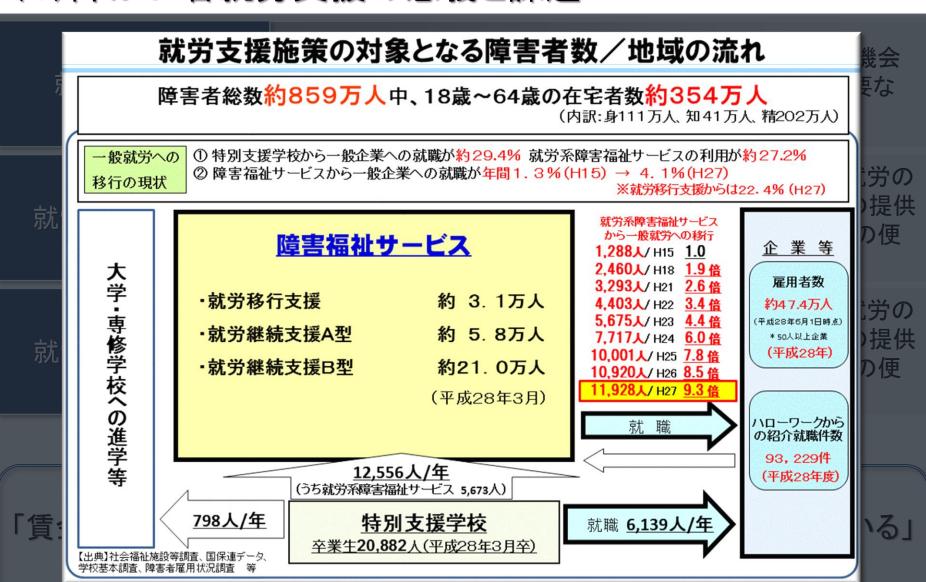
通常の事業所に雇用されることが困難な障害者につき、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じ、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を供与する(雇用契約に基づく)

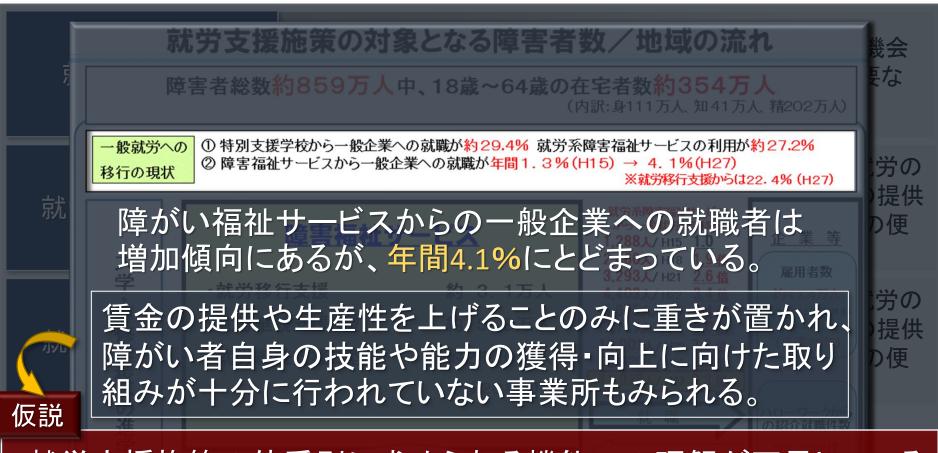
就労継続支援B型

通常の事業所に雇用されることが困難な障害者につき、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じ、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を供与する(雇用契約に基づかない)

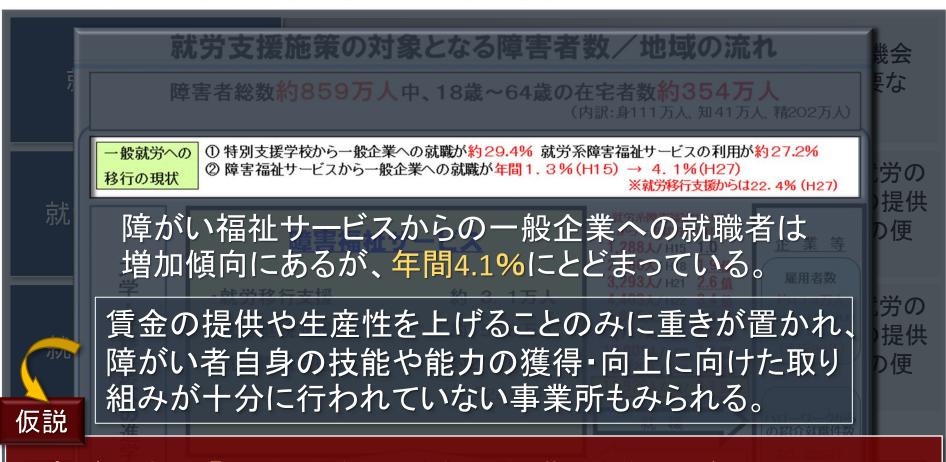
障がい者就労支援の意義

「賃金の提供や生活する力を高めることで、社会的な自立をめざしている」 (菅野2015)





- 就労支援施策の体系別に求められる機能への理解が不足している。
- ・障がい者の社会的自立に向けて必要な「身につけておくべき力」の 内容が不明確であり、能力向上に向けた実践の検証が不足している。



・障がい者の「社会的自立に向けて獲得・向上が必要な力」といった視点から、事業体系別に求められる機能を検討する必要がある。

(2)「働く態度」の獲得とその支援

社会的自立に向けて必要な力とは?

(2)本シンポジウムの課題と構成

「働く態度」の形成と、「態度の6領域」について

(菅野 敦)

話題提供1

障がい者就労支援施策の動向と

施設体系の機能分化 障がい者就労支援に (松木 咲子) 何が求められているのか?

障がい者就労支援の

歴史的変遷と課題

話題提供2

働く態度のチェックリストの

作成と活用

小笠百 坛)

障がい者就労支援の

内容と理論z

話題提供3

就労継続支援における

就労移行支援における

話題提供4

働く態度の獲得に向けた取り輝がい者就労支援では態度の獲得に向けた取り組み

佐藤 資子 具体的に何をするべきか? 池田

福祉的就労における 支援の実践 企業就労・定着に向けた 支援の実践

(2)本シンポジウムの課題と構成

「働く態度」の形成と、「態度の6領域」について (菅野 敦)

(「働く態度の獲得・向上」の視点による)

障がい者就労支援に 求められる機能の検討

(「働く態度の獲得・向上」の視点による)

障がい者就労支援における 具体的な支援方法の検討

(2)本シンポジウムの課題と構成

「働く態度」の形成と、「態度の6領域」について

(菅野 敦)

話題提供1

障がい者就労支援施策の動向と

施設体系の機能分化 障がい者就労支援に (松木 咲子) 何が求められているのか?

障がい者就労支援の

歴史的変遷と課題

話題提供2

働く態度のチェックリストの

作成と活用

小笠百 坛)

障がい者就労支援の

内容と理論z

話題提供3

就労継続支援における

就労移行支援における

話題提供4

働く態度の獲得に向けた取り輝がい者就労支援では態度の獲得に向けた取り組み

佐藤 資子 具体的に何をするべきか? 池田

福祉的就労における 支援の実践 企業就労・定着に向けた 支援の実践